

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズサポート つみきのおうち		
○保護者評価実施期間	R6年 4月 5日		～ R7年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	R6年 4月 5日		～ R7年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	少人数での預かりをしているため、児童に対しては3対1、状況に応じて1対1で手厚く対応が出来る。	児童に対して職員を豊富に配置しているので、児童の状態に合わせた活動提供、活動場所の変更に柔軟に行っている。	今までより専門的な支援ができるよう、児童に合わせた支援内容の検討を行うため、児童の状況等の情報共有を行っている。
2	保護者の悩み相談等をしやすい環境を整えるため、SNS等を使い気軽に連絡が取れるようしている。	保護者側からの発信ばかりにならないよう、時々ではあるが事業所から利用時の様子等SNSを使い発信して利用時の様子を写真付きでお伝えするようしている。	困りごとが起きた際に、児童発達支援管理責任者へ直通電話ができるようになっている。直通の電話は24時間児童発達支援管理責任者が所持しているので、療育放課後等デイサービスの開所時間以外でも連絡が取れるようになっている。
3	地域行事への積極的な参加。	季節の行事等は地域の催し物の情報を集め、豆まきや秋まつり、ハロウィン等公共施設や近隣企業への協力依頼をし、事業所内にとどまらず活動している。	前年度参加させていただいた行事だけでなく、常に新しい情報を取得できるよう管理者だけでなくスタッフ間でも情報共有を行っている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所のバリアフリー化について	事業所が賃貸でサービス提供を行っているため、設備等の設置、改修に限度がある。	現在までバリアフリー化を必要とする児童の預かりはないが、今後は状況に応じてスロープ等取り外しができるものを用意する等の対応をしていく。
2			
3			